

磐城時報

日 四 十
印刷所 磐城印刷所
印刷人 岡田弘成
発行所 磐城時報社
発行部 磐城時報社
電話 一三三三
代金 一月三圓 三月九圓 半年一七圓 一年三三圓
廣告料 一行十二字 第一日五字 第二日四字 第三日三字 第四日二字 第五日一字 第六日以下減半
日刊(日曜日休刊) 日刊(日曜日休刊)

市會議員が自費で 傷病兵慰問

第一班けふ出發

平市會議員有志は自費で傷病兵から來平検査局其他を視察し慰問する事となり第一班は昨日(廿九日)出發した。

農會長

靜岡視察

石城郡農會の大平藤四郎(せんご)本馬武(たけ)鈴木藤(ふじ)次郎(じ)豊田(とよ)草野(くさの)勇(ゆう)小川(こがわ)沼田(ぬま)之助(のすけ)内務省に於て此の程石城郡關心を拂はれてゐる。

増田檢察長

平視察

岩松宮城控訴院檢察長並に増田本縣檢察長は十四日四時、七日歸村する。

平庶民金庫の 總代人決る

理事は四月上旬選舉

本庶民金庫總代人選舉は十三日行はれたが當選者左の如く、理事選舉は四月に行ふ筈である。(○印は新顔)

水産會

議員選舉

本重雄、佐藤榮一、高橋龜松、多田井笑次郎、諸橋國松、○大塚康、小松茂、岡田政次郎、高野吉太郎、小野寛美、赤塚勇吉

駿川の調査に當り土木局の高橋技師、同試験所の高田技師、東北振興の萩原理事、外三名本縣の河井土木課長、黒岩技師等々三者聯合を以て三日間に亘る視察調査を行はれ上野村と山田村間の地質調査に河川の中にボリリングを試みられたる等に於て選考すべき定数は左の如くである

小名濱測候所は既に昇格して中央氣象臺小名濱測候所と改稱され敷地も文部省に移管工費一萬三千員内の應給増築工事も本月中旬に完成するが、新廳舎は四階建の測風塔も備へ外壁は悉くクリーム色に塗るなど極めて明るい感じがする、また従来の測候器械は四月中旬までに新しいものに取替へられ就中海洋氣象觀測船石城産馬畜産組合では今十二時頃も配管の管で二日午前十時から平市團休、青森、札幌と共に本縣事務所樓上にて定期總會を以ては小名濱が航空氣象開かれたが之れに先き立つ觀測地に指定され農業、漁業氣象觀測の機能も大いにの提出案件を審議し諸件目は左記の如く十二年度の追

加豫算は二百三十六圓で同前年度に比し二千四百七十七年度總額七百十六圓、次七圓を増加した。十二年度追加算は八百七十七圓で前年の當初豫算に比し二千九百三十七圓を増加した、原因は馬匹價格の高値に伴ふ歩金收入の増加に準ずる歳出諸費の自然膨張から他は目新しい事業はない、尚ほ一般會計歳入歩金收入を主なる財源に移す十三年度の種馬資金收支豫算は五千五百四十六圓でこれまた當然の膨張から

「季節珍味 小鳥料理」 捕球臺 新臺入替爲 常磐線湯本驛 鐵道指定旅館 小籠饅頭 電話小名濱二三

國營に移管された 小名濱測候所

廳舎の増改築工事進捗 三月中旬には完成

小名濱測候所は既に昇格して中央氣象臺小名濱測候所と改稱され敷地も文部省に移管工費一萬三千員内の應給増築工事も本月中旬に完成するが、新廳舎は四階建の測風塔も備へ外壁は悉くクリーム色に塗るなど極めて明るい感じがする、また従来の測候器械は四月中旬までに新しいものに取替へられ就中海洋氣象觀測船石城産馬畜産組合では今十二時頃も配管の管で二日午前十時から平市團休、青森、札幌と共に本縣事務所樓上にて定期總會を以ては小名濱が航空氣象開かれたが之れに先き立つ觀測地に指定され農業、漁業氣象觀測の機能も大いにの提出案件を審議し諸件目は左記の如く十二年度の追

加豫算は二百三十六圓で同前年度に比し二千四百七十七年度總額七百十六圓、次七圓を増加した。十二年度追加算は八百七十七圓で前年の當初豫算に比し二千九百三十七圓を増加した、原因は馬匹價格の高値に伴ふ歩金收入の増加に準ずる歳出諸費の自然膨張から他は目新しい事業はない、尚ほ一般會計歳入歩金收入を主なる財源に移す十三年度の種馬資金收支豫算は五千五百四十六圓でこれまた當然の膨張から

「季節珍味 小鳥料理」 捕球臺 新臺入替爲 常磐線湯本驛 鐵道指定旅館 小籠饅頭 電話小名濱二三

教育會第三方面 發會の披露

十六日聚樂館で

平市制實施に伴ふ石城郡教育會發會披露會は十六日(廿九日)聚樂館で開かれた。出席者は、副會長に大塚茂、會長に吉田豊間校長が就任した、これ改められる。

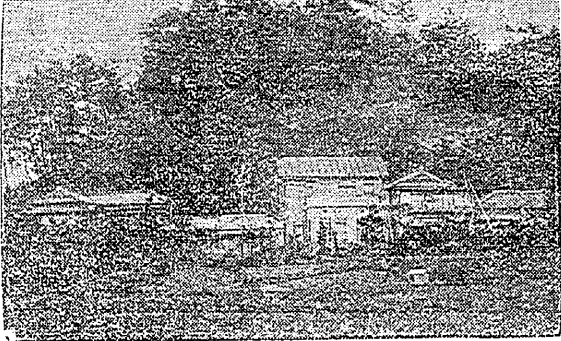
奇蹟的の命

定遠城から 小林眞之助君の通信

御家内皆々様一ヶ月にわたる永い間の戦闘と行軍のためすつかり御無沙汰しました、先月(一月二十七日)全椒で便りをもつてうれしかつたのも東の間、翌日出發の命令が出て毎日山越え野越え幾千里、地圖の上ではそれでも二寸が三寸に見られた有様でない、孔

子様の出生地と云ふ定遠城では多數の戦友を失つた、それからつづつ北に行き上〇では俺の隊と騎兵が七百の敵にこまれて大激戦、この時も戦友五人やられた、負傷者も大分出た、俺は奇蹟に命拾ひをした、俺の前にいた戦友が戦死、後に居た戦友が、頭貫通で倒れて俺一人のこされた、三倍餘の大軍を相手に惡戦苦闘でこの日は連絡も切れて、これまでに皆覺悟を決め隊長以下悲壯な思ひで夜を明かした、翌

飯を食ふ傍らにゴロ／＼してゐる、兎に角俺は元氣であるから安心して下さい。なほ皆様にしよるしく傳へて置きたい。今日(二月二十七日)まことによい春日和、野は青くなり始めた、柳の芽もりさへ高く舞上つて全内地の三月末か四月頃だ、二、三日たつたらタンポポも咲いたらう、朝は七時半頃明くなり、夜は八時近くまで明るいから之又面白いことだ。皆々様元氣でお過ごし下さい。



「季節珍味 小鳥料理」 捕球臺 新臺入替爲 常磐線湯本驛 鐵道指定旅館 小籠饅頭 電話小名濱二三

亡父品藏生前は格別の御懇情を辱うし誠に難有奉感謝候
今般 私儀亡父の名を襲ひ品藏と改名仕候就しは先代同様御交誼御引立を賜はり度乍畧儀以紙上御挨拶申上候
昭和十三年三月
弘事
改名 **根本品藏**
福島縣平市月見町一三

産婆看護婦 生徒募集
願書締切 四月六日
修養年限 兩科を通じ一ケ年
平市元一丁目
新築校舎 平市榎樋小路
石城産科婦人看護婦学校
校長 鷹崎千代

魚清自慢のなべ料理 始めました
鳥なべ。ありなべ。よせなべ。ねぎまなべ。かきなべ。はもなべ。あんこなべ。
出前も迅速に致します
魚清食堂
電話六三三番

生徒募集
願書受付 三月二十日迄
1 本科(一ケ年卒業)一年百五十名
2 裁縫専修科(二ケ年卒業)一年百名
3 師範科(一ケ年卒業)二十名
4 専攻科(一ケ年卒業)三十名
5 本科裁縫専修科(三補缺入學若干名
6 「附設」洋裁科(六ヶ月修了)若干名
詳細ハ學則請求ノコト
文部大臣認可
藤田女學校
平市田町(電話三二八番)

魚召すから ヒシマル凍魚
鯛 マナ鱈 ノカサギ
エビ 甘鯛 立貝
白魚 カナ頭 貝焼
日本産手特約電話三八二六番
卸小賣 **平製氷會社**
長瀬商店 印刷部向屋
四丁目五二八番

大捷の春 獨特の珈琲とWEIN
紳士の喫茶店
サニスター(外拜辭) グリル **パツカス**
平市銀座通り TIL 702
女店員募集
面白く眞面目に安心して働ける給料制度です
委細本人お出下さ

互融會事業報告 十二月中
融通金口數 八五〇
三、三一九、〇〇〇
滿期拂戻口數 八〇〇
四、三二〇、〇〇〇
概況 昭和十一年一月末現在
會員數 八、九八六口
世帯數 五、八一五戸
積立金一三、三三八、八七
融通金口數 一、五三、三六七
融通金回収高 七、九六三、〇〇
滿期拂戻口數 七、六五〇
滿期拂戻金額 三、五三、〇〇〇
太平火災海上保險株式會社平中央代理店

石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市榎樋小路一番地 電話五五五番
小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 相双支部
植田町臺町 原町東一番町

味噌と油 吉屋
福島縣平市
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
一旅留東京一九七五番

外科花柳病専門
入院隨意
平市六丁目
木村外科醫院
電話三〇九番

内臓外科 院長 安齋徹
エツキス光線
産婦人科 醫學士 黒澤廣
平市田町
安齋醫院
電話四七五
入院隨意

診療科目
一、齒科 一般
補綴科 保存科
齒列矯正科 小兒齒科
齒槽膿漏科 口腔外科
レントゲン科
院長 日本齒科 中野 惠次
醫學士 西川 誠
平市田町(松月堂向)
電話五〇九番
◇看護婦至急募集

吉田眼科醫院
市平紺屋町(電話六八番)
▽看護婦數名入用

花柳病科 專
泌尿器科 專
皮膚科 門
診療 午前八時ヨリ
午後九時マデ
時間 午後九時マデ
平市田町(電話六九一)
入院隨意
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎